

日大豊山「伸びしろ軍団」

2度目の甲子園へヒット&ラン。成長著しい選手たちが狙う頂点

昨秋の都大会でベスト4へ進出した日大豊山。2017年春からタクトを握る若き指揮官のもと、2000年以来2度目の甲子園出場を狙う。(取材・伊藤寿学)

■ 14年ぶりのベスト4

昨秋、日大豊山が都大会のトーナメントを駆け上がった。1回戦で成立学園に4対3で勝利、2回戦では、三松学舎大附を初戦で下した桜美林を3対1で下して、周囲をどよめかせた。続く3回戦では、日大出身の名将・美齊津忠也監督率いる日本ウェルネス、準々決勝では明星にも快勝。若き指揮官のもと一つになるチームは並みいる強豪を次々と撃破し、秋14年ぶりのベスト4へ進出した。準決勝では、日大三に敗れたが、秋の都大会に大きなインパクトを残した。平林昇季主将(2年=内野手)は「秋はピッチャーを中心に、

チーム力で守り勝つ野球ができました」と、進撃を思い起こす。チームは2000年の甲子園初出場以来、18年ぶりの聖地へ好スタートを切っている。

■ 甲子園を経験した若き指揮官

日大豊山を指揮するのは、OB指揮官の福島直也監督だ。日大豊山卒業後、日大へ進んで、母校へ戻ってきた。高校で7年間コーチを務めたのち中学を指導、2017年春に高校監督に就任した。

福島監督は昨夏を悔やんでいた。2015年夏に東京で準優勝を果たした上野満前監督から、好状態のチームを引き継ぎながら夏は4回戦で帝京に屈した。福島監督は「3年生たちは、春に監督が変わった中でも同じ方向を向いて頑張ってくれた。監督として結果を残すことができず申し訳ないと思っています。彼らがチームに残してくれたものは、

非常に大きかった」と話す。新チームは、3年生たちの意志をベースにして、再起動を図った。

■ 実戦重視のチームヘシフト

昨秋は4強に進出したが、満足することはできない。2年生を軸とするチームは、バッティングに重点を置き、トレーニングに励んだ。打ち勝つ野球を志したが、予想に反して準々決勝までの戦いはロースコアの展開となった。エース名倉侑田(2年=投手)らの奮闘によって、最少失点を守り抜いたことは評価できるが打撃については課題が残った。指揮官は「大会前の練習試合では面白いほどに打っていたチームでしたが、大会に入ってから打てなくなった。それは、日頃から実戦に対応した練習ができていなかったからだと考えています」と話す。実戦に強いチーム。秋大会後、選手たちはすべての練習を見つめ直し、一球一球を大切にしている。捕手で1番打者の

村高亮(2年)は「レベルの高いピッチャーを打ち崩す力をつけるために、オフに個の能力を上げる必要があります」とバットを振る。

■ 春へ向けてスケールアップ

伸びしろの大きいチームだ。走攻守3拍子揃った大型遊撃手・平林昇季、抜群の打撃センスを誇る西村達貴(2年=内野手)らが占めるクリーンアップの破壊力は都屈指。下位打線に長距離スラッガー・佐藤優太(2年=レフト)らが配置され、裏クリーンアップを形成。どこからでも得点が奪える打線を目指す。また機動力も磨いている。黒川太一助監督、宮坂健太・高野大地コーチが効率良く練習を進めていくチームは、選手たちがレギュラーポジションを求めてタケノコのように凌ぎを削る。春にはさらにスケールアップしたチームが見られることだろう。福島監督は「秋のベスト4はすべてを出し切った成績ではありません。1年生も力を伸ばしていて、このチームには「伸びしろ」しかないと思っています。これから、どこまで伸びるか楽しみです」と手応えを感じている。

秋4強は、夏進撃の予兆。日大豊山が目指す視線の先には、18年ぶりの甲子園がある。

日大豊山・福島直也監督 東東京で1位になる

「昨年の秋大会準決勝・日大三戦は、学校の協力によって全校応援となりました。ただ、その戦いでは結果を残すことができませんでした。あの敗戦をしっかりと受け止めて、今年の夏は東東京で1位になるために戦っています」1985年生まれ。日大豊山-日大。大学卒業後、日大豊山で7年間コーチ。その後、日大豊山中の部長・監督を務めて2017年春から母校監督に就任。昨秋は都大会で4強に進出した。2000年の甲子園を経験。



走攻守3拍子揃った大型遊撃手。指揮官が信頼預ける主将
平林昇季(2年=ショート)



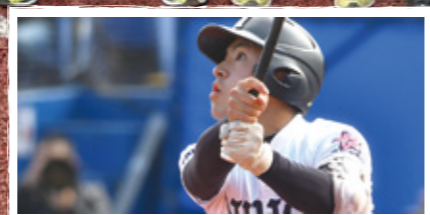
リード抜群、攻守の要。捕手では珍しい1番打者
村高亮(2年=捕手)



最速139キロのプロ注目右腕。豊山の絶対的エース
名倉侑田(2年=投手)



飛距離140メートル。破壊力抜群、右のスラッガー
佐藤優太(2年=レフト)



日本大学豊山高校

【住 所】東京都文京区大塚5-40-10 【創 立】1903年【甲子園】1回(夏1回) 明治36年創立の「豊山中学」が前身。日大付属唯一の男子校。最寄り駅は、東京メトロ有楽町線「護国寺駅」。野球部は2000年に夏甲子園初出場。昨秋はベスト4進出。OBに桑原義行(元横浜)

